

〔科目名〕 工業簿記	〔単位数〕 2 単位	〔科目区分〕 専門科目 基幹科目				
〔担当者〕 王聖書	〔オフィス・アワー〕 時間:授業内で案内する 場所:506 研究室	〔授業の方法〕 講義・演習				
〔科目の概要〕 <p>本授業では、製造業で行われる工業簿記および原価計算を学習する。製品原価を構成する材料費、労務費、経費の計算をはじめ、部門別に原価を収集する部門別原価計算、さらに個別原価計算、総合原価計算および標準原価計算など、工業簿記・原価計算の領域について幅広く学習する。また、本授業は原価計算のルールと計算技術のみならず、その背景にある理論の習得を目指す。</p> <p>基本的に、教科書とレジュメ資料を用いて進行する。</p> <p>なお、本授業は日商簿記検定 2 級の対策を目的としたものではありません。模擬試験や直前対策などの実施も予定しておりませんので、あらかじめご了承ください。</p>						
〔「授業科目群」・他の科目との関連付け〕・〔なぜ、学ぶ必要があるか・学んだことが、何に結びつか〕 <p>工業簿記は製品の製造コストを反映する会計である。これに対し、商業簿記は一般的な会計原則、財務報告やなどに焦点を当てている。「工業簿記」と「商業簿記」を同時に履修することで、会計の幅広い側面を総合的に理解し、実務で直面する様々な会計課題に対応できる能力を身につけることができる。</p> <p>また、2年次に開講される「管理会計論」を理解するうえで基礎となる知識を得ることができる。</p>						
〔科目の到達目標〕 原価計算の手続きが理解でき、簿記 2 級程度の原価計算の基礎知識を習得すること。						
〔ディプロマ・ポリシー (DP) との関係〕						
学 部				学 科		
DP1 ○	DP2 ○	DP3	DP4	DP1	DP2	DP3 ○
〔学生の「授業評価」に基づくコメント・改善・工夫〕 該当なし						
〔教科書〕 上埜進(2017)『工業簿記・原価計算の基礎〔第4版〕』税務経理協会						
〔指定図書〕 上埜進(2017)『工業簿記・原価計算演習〔第4版〕』税務経理協会						
〔参考書〕 廣本敏郎・挽文子(2015)『原価計算論〔第3版〕』中央経済社 清水孝(2017)『原価計算(改訂版)』税務経理協会						
〔前提科目〕 会計学基礎論						

〔学修の課題、評価の方法〕(テスト、レポート等)

課題： 30%

授業の進捗状況に応じて、復習課題を提出してもらい、理解度の確認を行う。課題は 3 回を予定している。1 回の課題を完成するのに、おおむね 90 分程度かかると予想される。課題は返却しないので、必要な場合は各自でコピーを保存しておくこと。

期末テスト： 70%

期末テスト前に日商簿記2級合格者には特典を与える(必ず合格証のコピーを提出すること)。

ただし、秋学期開始前(2025年9月24日以前)に合格された場合は、特典の対象とはならない。日商簿記2級に合格されている方は、本授業で扱う内容について十分に理解されていると考えられる。限られた時間をより有効に使うためにも、ご自身の学習状況や将来の進路に照らして、他の科目の履修や専門性を深める学習に時間を充てていくことを推奨する。

〔教員としてこの授業に取り組む姿勢と学生への要望〕

事前に予習する必要はないが、復習を欠かさずに行う必要がある。

教科書の章末問題に加えて、提示した練習問題についても解きましょう。

電卓を準備する。

日商簿記2級、ないし1級の取得を目指している方は、本授業の内容に加えて、CPAラーニングや市販の問題集などを積極的に活用することをおすすめします。

〔実務経歴〕

該当なし

授業スケジュール

第1回	テーマ(何を学ぶか): ガイダンス, 工業簿記・原価計算の基礎 内 容: 原価の定義, 原価計算の意義, 工業簿記・原価計算で使用される基礎的な用語を説明する。 教科書: 第1章 指定図書: 第1, 2章
第2回	テーマ(何を学ぶか): 費目別原価計算① 内 容: 製品を製造するために使用される物品の消費高である材料費について説明する。 教科書: 第2章 指定図書: 第3章
第3回	テーマ(何を学ぶか): 費目別原価計算② 内 容: 製品を製造するために労働力を消費したとき, その消費高である労務費および経費について説明する。 教科書: 第3・4章 指定図書: 第4, 5章
第4回	テーマ(何を学ぶか): 製造業間接費の計算 内 容: 製造原価のうちの製造間接費について, 製品別に集計する手続と予定配賦にともなう製造間接費配賦差異の分析方法を説明する。 教科書: 第5章 指定図書: 第6章
第5回	テーマ(何を学ぶか): 部門別計算① 内 容: 部門別原価計算の意義, 部門共通費の配賦および補助部門費の配賦について説明する。 教科書: 第6章 指定図書: 第7章

第6回	<p>テーマ(何を学ぶか):部門別計算②</p> <p>内 容:補助部門費の製造部門への配賦について説明する。また、予定配賦と配賦差異の計算について説明する。</p> <p>教科書:第6章 指定図書:第7章</p>
第7回	<p>テーマ(何を学ぶか):個別原価計算</p> <p>内 容:顧客からの注文ごとに製造原価を集計する方法について説明する。</p> <p>教科書:第7章 指定図書:第6章</p>
第8回	<p>テーマ(何を学ぶか):総合原価計算①</p> <p>内 容:大量連続生産に用いられる原価計算法における、月末仕掛品の評価について説明する。</p> <p>教科書:第8章 指定図書:第8章</p>
第9回	<p>テーマ(何を学ぶか):総合原価計算②</p> <p>内 容:総合原価計算において仕損と減損が発生した場合の月末仕掛品・完成品の原価計算について説明する。</p> <p>教科書:第8章 指定図書:第9章</p>
第10回	<p>テーマ(何を学ぶか):総合原価計算③</p> <p>内 容:工程別,組別,同級別総合原価計算について説明する。</p> <p>教科書:第9章 指定図書:第10,11章</p>
第11回	<p>テーマ(何を学ぶか):標準原価計算①</p> <p>内 容:原価管理のために有用な情報を提供する標準原価計算の目的,意義,基礎的な用語や概念について説明する。</p> <p>教科書:第12章 指定図書:第12章</p>
第12回	<p>テーマ(何を学ぶか):標準原価計算②</p> <p>内 容:標準原価計算における差異分析について説明する。</p> <p>教科書:第13章 指定図書:第12章</p>
第13回	<p>テーマ(何を学ぶか):直接原価計算①</p> <p>内 容:固定費と変動費を明確に区別して製品原価を計算する方法について説明する。直接原価計算にもとづいて短期利益計画の方法について説明する。</p> <p>教科書:第14章 指定図書:第13章</p>
第14回	<p>テーマ(何を学ぶか):直接原価計算②</p> <p>内 容:直接原価計算にもとづいて短期利益計画の方法について説明する。</p> <p>教科書:第15章 指定図書:第13章</p>
第15回	<p>テーマ(何を学ぶか):期末まとめ</p> <p>内 容:1回から14回までの重要論点を復習し,練習問題の解説を行う。</p> <p>配布プリント</p>
試験	<p>筆記試験を行う。筆記用具・電卓以外持込不可。</p>